

成果リレー (ブラジル国債& J-R E I T)

2014-08

<3240>

追加型投信／内外／資産複合

満期償還 2019年1月30日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル国債およびわが国のリート（不動産投資信託）に投資し、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	10,105円31銭
	純資産総額	158百万円
償還期	騰落率	△0.4%

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
 お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD
FONT**

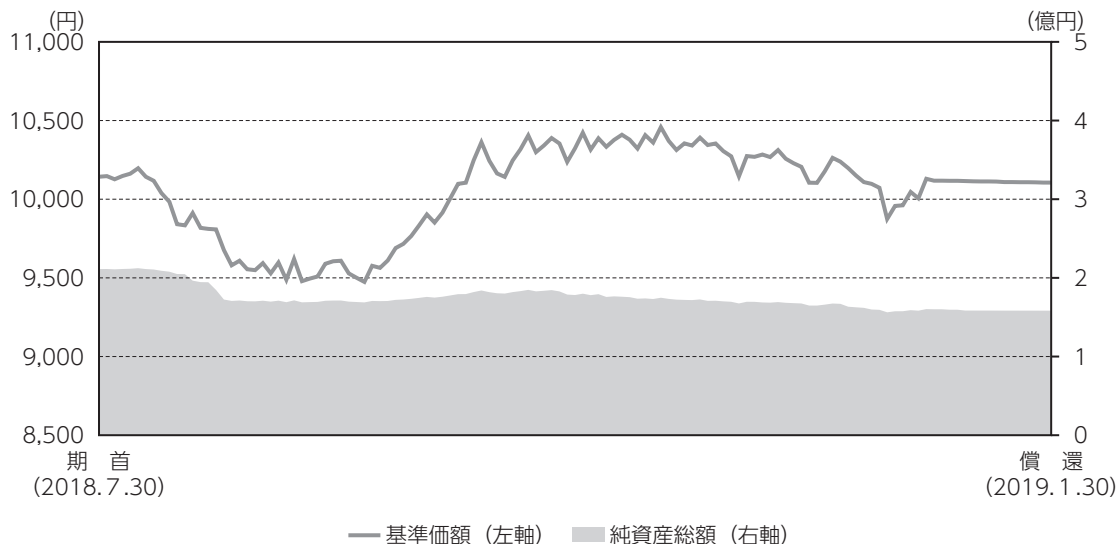
見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法
 上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：10,143円
 償還時：10,105円31銭
 騰落率：△0.4%

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、ブラジル・リアル建てのブラジル国債およびわが国のリートに投資した結果、為替相場において円高ブラジル・リアル安が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.7.31~2019.1.30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	74円	0.735%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,050円です。
(投 信 会 社)	(33)	(0.327)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.007	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0.007)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0.043	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	79	0.786	

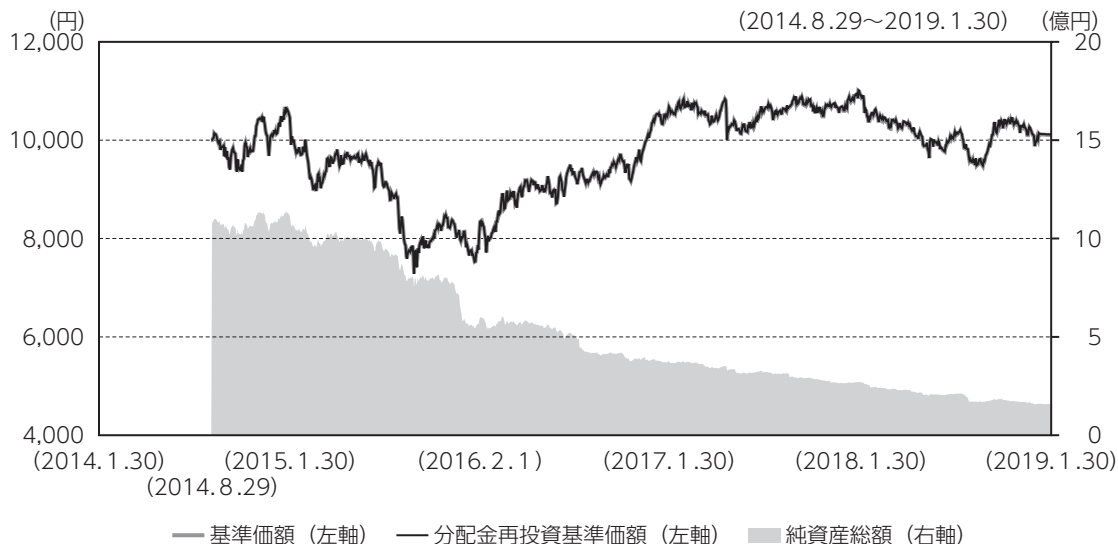
(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

	2014年8月29日 設定	2015年7月30日 決算日	2016年8月1日 決算日	2017年7月31日 決算日	2018年7月30日 決算日	2019年1月30日 償還時
基準価額 (円)	10,000	9,148	9,227	10,665	10,143	10,105.31
分配金（税込み） (円)	—	0	0	10	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	—	△8.5	0.9	15.7	△4.9	△0.4
東証REIT指数（配当込み）騰落率（%）	—	9.5	9.1	△4.2	6.4	7.5
ブラジル・リアル為替レート（対円）騰落率（%）	—	△19.5	△15.4	11.8	△15.1	△1.8
純資産総額 (百万円)	1,080	947	499	321	211	158

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 東証REIT指数（配当込み）およびブラジル・リアル為替レート（対円）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について

（2014.8.29～2019.1.30）

■ブラジル債券市況

ブラジルの金利は低下（債券価格は上昇）しました。

ブラジルでは2014年10月から利上げが開始され、金利は上昇しました。大手石油会社の汚職問題や財政再建の難航も、金利上昇要因となりました。2015年8月以降は、財政収支の黒字目標値の下方修正や追加増税法案の成立の遅延などにより、財政懸念が高まりました。大手格付会社は相次いでブラジル国債を格下げし、金利は急騰しました。2016年から金利は反落しました。政治面では、ルセフ大統領が弾劾され、政権交代が好感されました。2016年後半は、財政赤字削減目標の議会での承認や歳出削減法案の可決により、財政再建への期待が高まりました。金融政策では、10月から利下げが開始されました。インフレ率が低下する中で利下げは2018年まで続けました。2018年4月以降は、大統領選挙の不透明感や米ドル高を受けた新興国からの資金流出懸念を背景に金利が上昇し、5月末にかけて行われたトラック運転手らによるストライキも金利上昇要因となりました。10月にボルソナロ氏が新大統領に当選し、新政権および年金改革への期待やインフレが低位に推移していることから、金利は低下しました。

■Jリート市況

Jリート市況は上昇しました。

Jリート市況は、設定時より、海外の地政学リスクなどの悪材料と、良好な米国経済指標の発表や東京都心のオフィス・ビル空室率の低下と賃料の底入れ傾向などの好材料が交錯し、一進一退で推移しました。2014年10月末以降は、日銀による予想外の追加金融緩和や長期金利が低下傾向であったことを背景に、市況は大きく上昇しました。2015年1月中旬以降は、長期金利が反転上昇する局面やJリート各社による公募増資に伴う需給悪化を嫌気し、市況は調整局面に入りました。さらに8月中旬からは、中国経済の減速をはじめとする世界的な景気変調への警戒感が強まりJリート市況も急落しました。2016年1月に日銀がマイナス金利の導入を柱とする追加金融緩和策を発表すると、Jリート市況は上昇基調に転じました。5月から2017年11月までは、Jリートに投資する投資信託からの資金流出や英国のEU（欧州連合）離脱、北朝鮮に関わる地政学リスクの高まりを懸念したリスク回避の動きもあり、下落基調となりました。その後は自己投資口取得やリート同士の合併の発表などを材料に上昇に転じ、良好な事業環境により国内外投資家からの資金が継続的に流入したことなどから好調な推移となりました。国内株式市場が米中の貿易摩擦に対する見通しや海外株式市場に合わせる大きく上下する中において、同様に上下することはありましたが、株式市況と比較すると安定的に上昇して償還を迎えました。

■ 為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

設定時より、商品市況の下落などからレアルは下落しました。景気後退懸念や大手石油会社の汚職問題も下落に拍車をかけました。2015年前半は米国の利上げ観測やギリシャ債務問題、中国景気への懸念などで、新興国・資源国からの資金逃避の動きが見られ、2015年後半は汚職問題の波及や景気低迷の継続懸念、国債の格下げなどがレアルの下落圧力となりました。2016年3月には、原油価格の底打ちや株価の上昇、政権交代期待の高まりなどでレアルは下落幅を縮小しました。2016年後半は財政再建への期待の高まりが、2017年前半は世界的な株価の堅調さや鉄鉱石価格の安定がレアルの上昇に寄与しました。2018年は、世界的な株価下落でリスク回避的な姿勢が強まったことや、国内の景気悪化懸念および政治の不透明感などからレアルは下落しました。4月以降は、米ドル高を受けた新興国からの資金流出懸念に、国内の大規模ストライキや大統領選挙の不透明感も加わりました。10月にボルソナロ氏が新大統領に当選した後は、新政権および年金改革への期待からレアルは下落幅を縮小しました。

信託期間中の運用方針

■ 当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>」および「ダイワJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債およびわが国のリートに投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。信託期間中の解約に対しては、各マザーファンドの売却前の投資比率を維持するように対応する方針です。

■ ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>

主として、ブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。ブラジル国債の運用にあたっては、償還日が当ファンドの信託期間終了日に近い銘柄を中心に投資します。また、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。

■ ダイワJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

信託期間中のポートフォリオについて

(2014.8.29~2019.1.30)

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>」および「ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建でのブラジル国債およびわが国のリートに投資を行いました。設定当初の「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>」と「ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド」への投資比率はおおむね7：3とし、信託期間中の解約に対しては、各マザーファンドの売却前の投資比率を維持するように対応しました。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2019年1月償還）を保有しました。当該銘柄が償還された後は、コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

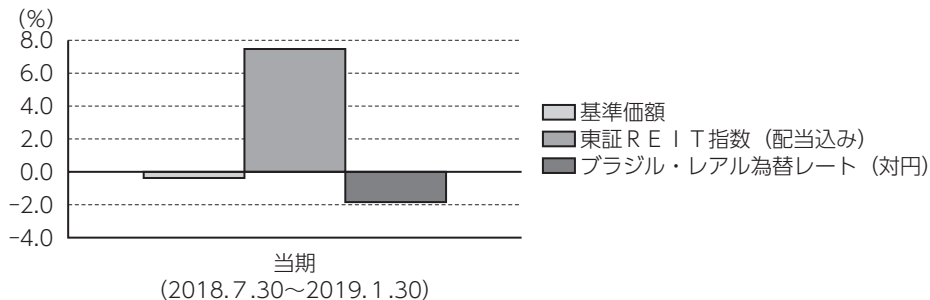
■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

リートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95~98%台程度で推移させました。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当作成期中における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第3期に10円の収益分配を行いました。第1期～第2期および第4期は、基準価額の水
準等を勘案して、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証
券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存
でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

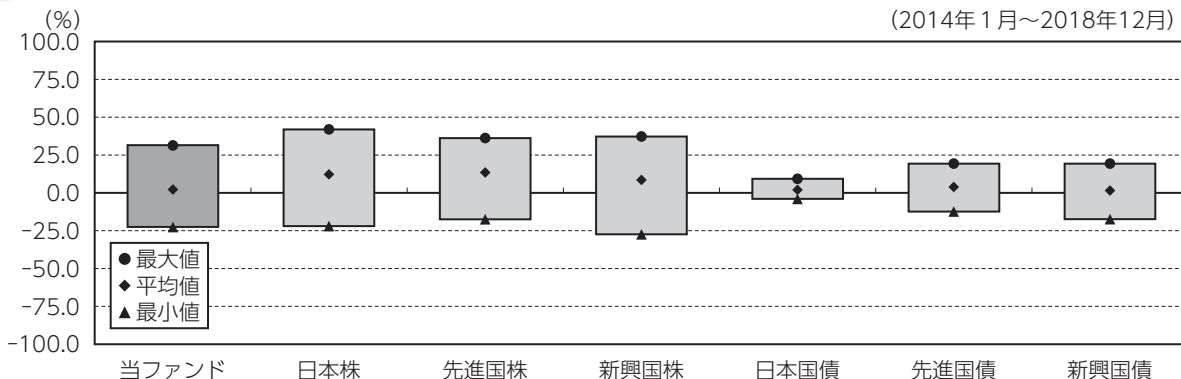


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約4年5カ月間（2014年8月29日～2019年1月30日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>の受益証券 ロ. ダイワJ-R E I Tアクティブ・マザーファンドの受益証券 ハ. ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「不動産投資信託証券」といいます。）
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、ブラジル・リアル建てのブラジル国債（※）およびわが国の不動産投資信託証券（リート）に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※投資環境によっては、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>の受益証券に投資せず、直接、ブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資することがあります。</p> <p>②設定当初のブラジル国債と不動産投資信託証券への投資比率はおおむね7：3とします。その後、為替や不動産投資信託証券の値動き等により投資比率は日々変動します。</p> <p>③ブラジル国債の運用にあたっては、償還日が当ファンドの信託期間終了日に近い銘柄を中心に投資します。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	31.4	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
平均値	2.2	12.2	13.4	8.5	2.0	3.8	1.5
最小値	△22.6	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2019年1月30日
純資産総額	158,346,249円
受益権総口数	156,696,024口
1万口当り基準価額	10,105円31銭

* 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は51,539,374円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

大和投資信託

Daiwa Asset Management